

平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

世界最大規模の原子力発電所が立地する地域として、広く県民一般に原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する知識の普及啓発を行い、もって地域社会の安全と安心に寄与することを目的とする。(定款から)

- 1 原子力の平和利用に関する知識の普及啓発
- 2 原子力に関する情報の収集及び公開
- 3 原子力防災に関する研修及び育成
- 4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業項目】

1 原子力発電に関する広報事業

予 算： 21,960,000円 (平成29年度：20,765,000円)

(1) 原子力講座(出前講座)・研修

- ・目的： 原子力に関する正しい知識の普及啓蒙
- ・内容： 「放射線の基礎知識」、「原子力防災の基礎」等
- ・対象： 県内の一般住民
- ・回数： 8回(平成29年度：10回)
- ・期間： 5月～12月
- ・開催形式： 地域・企業等に出向いての講座開催

(2) 放射線教育研修会

- ・目的： 学習指導要領の改正により小中学校の理科教師を対象に、教育現場に役立てもらうための放射線知識に関する研修
- ・対象： 県内の小中学校理科担当教師(教育委員会、教育センターと連携)
- ・回数： 5回(管内2回、管外3回)(20人/回)
(平成29年度：4回)
- ・期間： 4月～6月
- ・研修： 放射線教育の推進に役立つ基礎研修講座
- ・会場： 柏崎原子力広報センター、県内の教育センター等

(3) 次世代対象事業

- ・目的： 次世代（小・中学生）を対象に、原子力や放射線の知識の習得と共にエネルギーについて考える場の提供

① 「青少年のための科学の祭典」参加

- ・主催： 柏崎市教育委員会、教育センター
- ・対象： 次世代層・親子
- ・回数： 2回（平成29年度：2回）
- ・期日： 春・秋の開催
- ・会場： 新潟工科大学構内
- ・内容： キャッチコピー「身近な自然放射線」
簡易放射線測定器を用いての自然放射線計測の体験

② エネルギー・環境セミナー

- ・対象： 小学生・中学生
- ・内容： 小中学校での放射線やエネルギー授業
- ・回数： 30回（30人／回）（平成29年度：15回）
- ・期日： 5月～12月

(4) 展示事業

- ・目的： 当センターの展示設備等の利用促進と施設の維持管理
- ・内容： センター展示設備：
アトミューひろば、ライブラリー、アトミューラボ等
施設の保守点検
電気、空調、自動ドア、エレベーター等
館内清掃
- ・期日： 4月～3月

(5) ホームページによる情報公開、発信

- ・内容： 講座、研修等についての定期的な情報発信
（日常更新は広報センターで実施）

(6) 原子力広報啓発資料の作成と配布

- ・内容： 放射線に関する知識の普及啓発のためのメモ帳等の作成

(7) 原子力関係情報収集

- ・内容： 職員研修・調査、資料収集と整理
原子力広報機関連絡会や原子力関連セミナー等への参加

(8) 講師情報共有会議

- ・内 容：講師間の情報共有や講座・研修における基本事項の確認の場として年1回開催

2 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」運営事業

予 算： 7,946,000円（平成29年度：7,227,000円）

- ・内 容： 定例会12回、運営委員会12回、情報誌「視点」発行6回、柏崎刈羽原子力発電所の視察、県外視察・研修

3 原子力防災に関する研修及び育成

予 算： 4,279,000円（平成29年度：3,460,000円）

(1) 新潟県事業

- ・内 容： 消防団員や自治体職員を対象とした原子力防災研修
- ・回 数： 4回（上・中・下越で開催）（平成29年度：4回）
- ・予 算： 1,423,000円（平成29年度：1,038,000円）

(2) 柏崎市事業

- ・内 容： 「原子力地域防災リーダー研修」運営業務 6回（平成29年度：6回）
- ・予 算： 1,739,000円（平成29年度：1,585,000円）

(3) 刈羽村事業

- ・内 容： 「原子力地域防災リーダー研修」運営業務 6回（平成29年度：6回）
- ・予 算： 1,117,000円（平成29年度：837,000円）

4 法人会計

- ・内 容： 評議員会、理事会、監査運営等経費
- ・予 算： 453,000円（平成29年度：445,000円）